

九州・沖縄地区会 開催



平成26年11月12日(水)、ステーションホテル小倉において、九州・沖縄地区会(代表幹事：清水喜文、安川情報システム(株) 代表取締役社長)が開催された。参加者は24名。

清水代表幹事の開会挨拶に続き、JISA五十嵐隆副会長が、「ICT分野の変化は早く、市場のグローバル化が広がっており、従来の効率化を中心と

するビジネスマネジメントから、顧客の事業の競争力に直結する新しい関係構築への転換が必要だと実感している。」と挨拶された。

議事に入り、まず経済産業省 商務情報政策局情報処理振興課 平山利幸課長補佐から、27年度概算要求、「攻めのIT投資」について、組織における内部不正対策のポイントなど経済産業省の情報政策について説明があった。

次にJISA河野副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向(特サビ動態統計、DI調査)、生産性向上設備投資促進税制、内閣官房IT総合戦略室に提出した「パーソナルデータの利活用に関する制度改正大綱」に対する意見、国際会議関係、JISA設立30周年記念行事など最近のJISA活動状況に関する報告の他、中国、四国地区会と九州・沖縄地区会を統合して西日本地区会とし、北海道、東北地区会を統合して東日本地区会とする地区会構成の見直しについて説明があった。

休憩を挟んで、平成27年の世界文化遺産登録に向けてユネスコへ推薦している、日本の近代化に貢献した産業遺産群をテーマに、産業考古学会 市原猛志理事による「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」と、ジャパン九州ツーリスト(株) 近藤政一代表取締役による「官営八幡製鐵所 産業革命遺産が語る」の2本の講演が行われた。

(赤尾)